



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2023年 9月
No.12

●今月の強調目標

EMC

●今月のことば

「少にして学べば、即ち壮にして為すことあり。
壮にして学べば、即ち老いて衰えず。
老いて学べば、即ち死して朽ちず。」

米山 俊彦 君 選

今月の例会案内（第12回）

- 日時：2023年9月6日（水）18:30～20:30
- 会場：シャトレゼホテル談露館
- 司会：米山 俊彦 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 米山 俊彦 君
- ・ワイズディナー
- ・会員卓話 「私の披瀝書」
渡邊 隆 君
- ・ニコニコタイム・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo of monthly



8月2日(水)、やまなみクラブ8月例会において藤原会長から
ネックレスをプレゼントされる森本俊子あずさ部部長(中)
と長谷川あや子部書記(左) (於:シャトレゼホテル談露館)

8月のデータ

会員数:12名 例会出席:8名
ビジター:2名 森本俊子(長野)・長谷川
あや子(東京八王子) 例会出席率:67%
ニコニコ:8,700円

ハッピーバースデー

メン 仙洞田安宏 (9/15)
パートナー 渡邊 隆子 (9/5)
菅沼 瑠美 (9/26)

アニバーサリー

該当者なし

今月のことば

米山 俊彦君

江戸時代後期の儒学者、佐藤一斎(1772-1859)の「言志四録 言志晩録第60条」が出典です。

子供の頃にしっかりと勉強しておけば、大人になってから役に立ち、何事かを為すことができる。

大人になってからも学び続ければ、老年になってからもその力は衰えることがない。

老年になってなお学ぶことやめなければ、ますます見識も高くなり、死んだ後もその学びの成果が次代の人々によって引き継がれていく、というものです。

●●●● 8月例会報告 ●●●● 仙洞田安宏

連日の猛暑の中、8月2日(水)シャトレゼホテル談露館において、やまなみクラブ8月例会が開催されました。8月は、あずさ部部長の公式訪問で、森本俊子部長と長谷川あや子部書記が出席されました。司会は米山書記、今月の言葉は井伊直弼の「独坐観念」を仙洞田が紹介しました。

部長公式訪問では、森本部長の人柄がわかるようなテーマで卓話をお願いしたところ、「私流、こんな興味の膨らませかた」と題してお話を伺いました。本題に入る前に、あずさ部の現状、ご自身のワイズ歴に触れられました。7月1日現在のあずさ部の現勢は11クラブ158人とのこと。今期は若いクラブ会長が多いのでワイズが変わって行く兆しとなるのではないかと期待を述べられました。

森本さんの趣味については以前からハンドベルのグループを主宰されていることは知っていましたが、その他にも香道、書道、詩吟、着物、ベルカント(イタリアの歌唱法)等、実に多彩な趣味をお持ちです。

卓話はご友人作成の「六十干支/年号・西暦対照表」を配布され、年号の持つ文化的意味について話されました。例えば、現在の「令和」の出典は大伴旅人の「梅花の歌」の『時に初春の全月にして気淑く風和らぎ、』からであり、これは天平2年(730年)の宴会での様子を歌ったもの。一人ひとりが希望を持ち、花を咲かせられる国にしたいという願いが込められ

ている。また、大江健三郎の「万延元年のフットボール」で知られる「万延」は長野の信級(のぶしな)にある神社の祠にその年号が刻まれているが、対照表を見ると「万延(1860)」は1年しかなかったことが分かる。このように、年号という時間軸を旅するように空想の翼を拡げて楽しんでいるとのことでした。

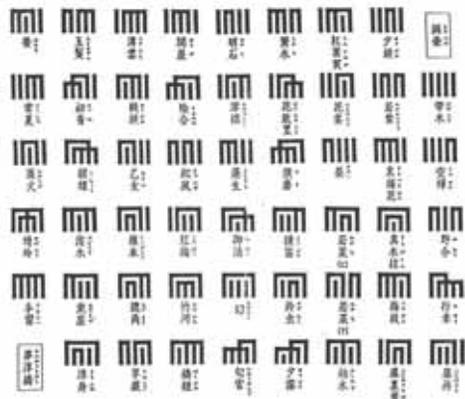
そして話がいつの間にか「香道」の話題になり、その中で、私が以前富山県高岡市で見かけた民家の塀に穿たれた“記号”のようなものが、後に「源氏香の図」と判ったことの話をしたので、ますます話が広がり深まっていきました。森本さんのお人柄がうかがえた卓話でした。

続いて長谷川さんから、ご自身のワイズとの関わりについて短いコメントをいただきました。

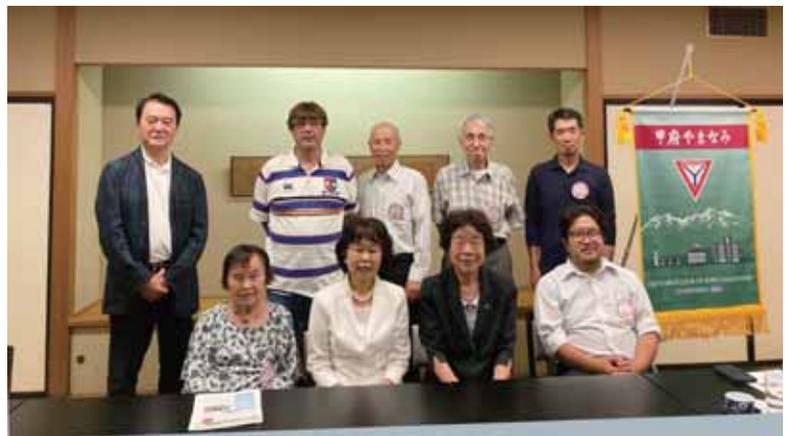
諸報告では福田担当主事から、この夏のAYC(アジア太平洋地域ユースコンボケーション)に、山梨YMCAの風間奈月さんが参加する事になった旨の報告がありました。

その後、藤原会長から、実家が貴金属加工業を営んでいることから、ビジターのお二人にネックレスが贈呈され、思わぬサプライズにお二人とも大喜びでした(1ページ写真)。和気藹々とした楽しい例会でしたので、閉会点鐘後はとても「独坐観念」という境地にはなりませんでした。

出席者、メン:藤原・松本・米山・渡邊・大澤・三井・仙洞田・福田、ビジター:森本俊子(長野)・長谷川あや子(東京八王子)



【源氏香の図 - 後日森本部長から提供】



8月例会ニコニコメッセージより

- ▼今日の誕生花はサギソウだそうです。我が家のサギソウもちょうど咲き始めました。隣近所に差し上げた分も咲き始めています。嬉しいです。(森本俊子)
- ▼部長公式訪問に同行させていただきました。やまなみクラブの方と打ち解けることが出来嬉しかったです。これからのクラブのご発展を心よりお祈りしております。(長谷川あや子)

- ▼森本部長様、長谷川書記様、本日は遠いところをお越しいただき、ありがとうございます。(藤原一正)
- ▼香道の歴史の話を聞いたが、奥が深く初めて知りとても参考になりました。(松本公夫)
- ▼暑さに負けずに、コロナに負けずに!! (米山俊彦)
- ▼森本あずさ部長ようこそ (渡邊 隆)
- ▼楽しい例会でした。(大澤祥子)
- ▼本日は卓話ありがとうございます。大変興味深い話が聞けてよかったです。(三井雅之)



本年5月に入会した大澤祥子さんに、故大澤英二さん(山梨YMCA第8代理事長・名誉主事/2020年11月没)とともに歩んできた人生を綴っていただきました。

山梨YMCAとともに

第1回

大澤 祥子

私は1936年5月、東京都渋谷区笹塚で生まれました。小学校3年の時、太平洋戦争が激しくなったため、富山の瑞泉寺へ集団疎開をしました。疎開生活は夜はノミやシラミに悩まされ、食べるものも少なく栄養失調になって痩せ細りました。半年ほどで終戦になりましたが、東京は焼け野原。我が家も全焼し帰るところがなく、両親の故郷である四国の香川県へ移りました。ところが四国での生活に馴染めず、半年でまだ焼け野原の東京へ戻りました。

中学はミッションスクールの恵泉女学園へ進み、ここで初めて河井みち校長より聖書のお話を聞きました。京王線の幡ヶ谷にある城西教会へ通い始め、中学3年のクリスマスに宮城正牧師より洗礼を受けました。

その後、都立富士高校を経て青山学院英米文学科に進学しました。入学当初は馴染めず大学を辞めようかと思うほど悩んでいた時、見知らぬ先輩に『僕らのクラブへ来ない?』と誘われ、ドストエフスキーの「カラマゾフの兄弟」を読んでいるグループを見学しました。喧嘩ごしで討論している学生たちに新鮮な驚きを覚えました。それが学生YMCAにはまって行ったきっかけでした。大澤英二と出会ったのは大学3年の時、学生YMCAの副会長に女子からは私が、男子からは大澤

が選ばれ、その時初めて出会いました。大澤は午後4時から東京YMCAで働いていたので、たぶんどの読書グループにも参加できなかったと思います。

大学を卒業後、ミッションスクールの横須賀学院で英語の教師を2年間勤めました。教師になるのは小さい時からの夢で、英語が好きだったので英語教師の道を選びました。横須賀学院の学校行事の一つに中学2年生の富士登山がありました。教師生活2年間に二度、一合目から頂上まで登山できたことは忘れられない思い出です。女から英語を学んだら英語がすたれると男子生徒から抵抗を受けたこともありました。まだまだ女性が認められない時代でした。それでも横須賀学院での教師生活は貴重な経験でした。



【青山学院学Y修養会-1958年頃・山中湖YMCAキャンプ場にて
立位右から4人目が私、その左隣りが大澤英二】

松葉牡丹植えと草取り作業

松本 公夫



酷暑が続く昨今、知り合いから沢山の松葉牡丹をいただき、家の周りに植えました。控えめで綺麗な可憐な花なので、我家に植えて通行人に見せるだけでなく、もっと人目につくところへ植えようと、ふとYMCAが頭に浮かびました。以前、ワイズの共通奉仕活動の「ワールドクリーンアップデー」で、甲府21クラブの皆様と植えたことを思い出し、善は急げと即行動に移しました。

8月2日(水)早朝6時から、YMCA野の花保育園の北グラウンド出入り口の外側(プランター)と一部内側に植えました。その後、何回か水やりに行き、保育園と本館周りの雑草が目立っていたので、立ちカンナを用意し、12日(土)と16日(水)に草取りをしました。

あずさ部 部大会に 参加しよう!

- * 10月21日(土) 12:00から
- * 長野市・善光寺事務局講堂
- * 会費:5,000円
- * 主なプログラム
- ・第1部—式典
- ・第2部—懇親食事会
- ・第3部—記念講演「平和の架け橋プロジェクトの今」福島貴和氏
- ・第4部—公演:落語・日本舞踊・邦楽コラボによる善光寺由来の一席「お血脈」
- * 申込:9月28日まで、あずさ部長谷川書記へ



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「夏の足あと」

夏の終わり、スタッフから夏のプログラム活動終了報告がありました。ほっと一息して館内に響くスタッフの足音。YMCAで夏を過ごした子ども達の数、延べ人数にして約3,000人でした。保育園、学童、放課後等デイサービス、野外活動キャンプとそれぞれ違う場所で過ごす子どもたちですが、夏ならではの過ごし方によりそれぞれの豊かな学びとなったことと思います。

特に印象に残ることは、今年もピースプログラムを行い、甲府YWCAの主催するイベントに参加させていただきました。子どもたちは戦後の在り方、これからの未来への考え方を学びました。決して戦争を起すてはいけないと「折りづる」の絵本の読み聞かせ

に目、耳、身体全体を使って向き合っていました。学童のメンバーから学びのお礼に何かしたいと声上がり「折りづるの歌」をプレゼントすることになりました。そこで、リコーダーを演奏する高学年、ギターを弾くユースリーダー、そこに伴奏のピアノが入りバンド結成となり、みんなで歌った歌は心のこもったものでした。YWCAの方からも喜んでいただいた事で、これまで続けてきたことの意味を実感した夏でした。

これまで山梨YMCAでは戦争体験を前理事長から伝えられてきました。毎年、胸を熱くし「戦争は絶対してはいけないんだ」と子どもたちの口が強められた夏を思い出します。この意思をスタッフ皆で引き継ぎ「平和な世界・仲良しの友達・ひとりひとりが大事な存在」を言葉だけでなく丁寧な態度で表現できるよう努力していきたいと心に強いものが残りました。ここから先に進む足跡に豊かな恵みが与えられますように祈りの時を守りたいと思います。

♣ みずがきの家

仙洞田安宏

山梨YMCAでは、3年前に亡くなられた大澤英二さんが保存・所有していた史料を中心に、山梨YMCAの歴史を整備しようと「史料展示室開設準備委員会(甲府21クラブ・松村禎夫委員長)」を設け、準備を進めてきました。

本館北の、木造2階建ての中古建物をリフォームして「みずがきの家」と命名されました。「みずがき」は、かつて山梨で盛んだったハイY(高校YMCA)活動のメッカとも言える「瑞牆山麓」に由来します。その1階がYMCAやハイY、ワイズメンズクラブなどの史料を集めた「史料室」として活用されることになりました。

現在、11月のお披露目に向け、史料類の整理が佳境に入っています。私も委員の一人としてワイズメンズクラブ関係の史料整理を担当しています。

なお、ここには「談話室」も設けられ、誰でも利用することができます。



【山梨YMCA史料展示室・みずがきの家】

▼ ユース情報

▼8月25日～29日の5日間、ネパールのカトマンズにおいて「アジア太平洋地域ユースコンボケーション(AYC2023)」が開催され、山梨YMCAから風間奈月さんが参加しました。

▼9月29日～10月1日に東京YMCA山中湖センターで開催される、ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)に、山梨YMCAからも派遣されます。

会員短信

✓藤原一正さん・仙洞田安宏さん

1年間に3人以上の新入会員を紹介したとして2022-23年国際ブースター賞を表彰されました。

✓藤原一正さん

東日本区の法人推進委員会の委員に任命されました。

✓松本公夫さん

8月1日(火)、甲府21クラブ例会で卓話(JICA海外協力隊・ケニアの昔と今)をしました。

今後の予定

✓9月27日(水)

クラブ役員会(18:30 山梨YMCA)

✓9月30日・10月1日

・富士五湖クラブ富士山例会(五合目・佐藤小屋)

✓10月8日(水)

10月例会(18:30 山梨YMCA)

✓10月21日(土)

あずさ部部大会(長野) 詳細は3ページ